

第 11 回 IT ヘルスケア学会学術大会開催のお知らせ

「IT ヘルスケアのこれから ～在宅、災害対策から AI まで～」

一般社団法人 IT ヘルスケア学会（東京都千代田区、代表理事・水島 洋：国立保健医療科学院）は、2017 年 5 月 27 日（土）から 28 日（日）に国立病院機構名古屋医療センター附属看護助産学校にて、第 11 回の学術大会を開催致します。

近年の IT 技術の進歩が、年々発生の確率が高まってきている巨大地震等の災害へどのように対応するのか、超高齢化社会で増え続ける在宅医療のニーズにどのように応えるべきか、IT と医療を軸にした活発な議論を期待するために、今回のテーマは「IT ヘルスケアのこれから ～在宅、災害医療～AI まで～」としております。

なお、学術大会の最後に、災害時の医療や自動運転技術の進歩について、具体的な事例を基にしたパネルディスカッションを市民公開講座（参加費無料）として開催いたします。

学術大会概要

- 開催日： 2017 年 5 月 27 日（土）9：50 ～ 28 日（日）17：30
開催場所： 国立病院機構名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校
主催： 一般社団法人 IT ヘルスケア学会
大会長： 佐藤 智太郎（国立病院機構名古屋医療センター医療情報管理部 部長）
参加費： 会員 事前登録（8,000 円）当日参加（10,000 円）
非会員 事前登録（10,000 円）当日参加（15,000 円）
参加申込： <http://ith11.miew.co.jp/entry/>
ホームページ： <http://ith11.miew.co.jp/> *IT ヘルスケア学会 <http://ithealthcare.jp/>

市民講座：2017 年 5 月 28 日（日）16:00～17:30 （参加費：無料）

- 開 会 挨拶 堀井 奈津子氏（愛知県副知事）
講 演 「自動車の安全の取り組みと自動運転の技術動向」
加藤 昌彦氏（トヨタ自動車 東京技術部 担当部長）
パネルディスカッション 「IT ヘルスケアのこれから～在宅、災害対策から AI まで～」
座長：水島 洋（国立保健医療科学院）
パネリスト 加藤 昌彦氏（トヨタ自動車 東京技術部 担当部長）
堀 福次郎氏（大和ハウス工業㈱ 取締役専務執行役員）
横山 孟史氏（一般社団法人 日本医療資源開発促進機構 代表理事）
高瀬 義昌（医療法人社団支高会 たかせクリニック理事長）

問い合わせ先

【ご参考】

ITヘルスケア学会学術大会 タイムテーブル

1日目			
		第1会場	第2会場
9:00	受付		
9:50		開会式	
10:00		パネルディスカッション(P) 「災害とIT」	
11:30		企業展示見学	
12:00		ランチョンセッション1(L1) 「最新IT活用で実現する、高齢化社会の地域医療連携へのチャレンジ—2020年、グローバルに日本モデルを提言する—」	
13:00		一般演題(口演) (OS1)	一般演題(口演) (OS2)
14:30		シンポジウム1(S1) 「地方創生とITヘルスケア～安心と防災の地域包括ケア～」	
16:00		シンポジウム2(S2) 「AIと認知症」	
18:00		総会	
懇親会(18:30～20:30)			

2日目

		第1会場	第2会場
8:15	受付 企業 展示		
9:00		シンポジウム3(S3) 「医療分野におけるモバイル・IoTとセキュリティ」	
10:30		一般演題(ポスター) (PS)	
12:00		ランチョンセッション(L2) 「防災インフラ整備への大和ハウスの挑戦」	
13:00		一般演題(口演) (OS3)	一般演題(口演) (OS4)
14:30			
15:00		シンポジウム4(S4) 「地域包括ケアにおける薬局の役割 -身体計測, IoTをめぐって-」	
16:00		市民公開講座	
17:30		表彰式・閉会式	

パネルディスカッション

パネルディスカッション (P) 「災害と IT」

5/27 (土) 10:00~11:30 第1会場

座長：磯部 陽 (国立病院機構 東京医療センター)

「災害訓練を利用した「災害時医療情報閲覧システム REMEMB' R」の運用検証」

演者：岸 真司 (名古屋第二赤十字病院 医療情報部長)

「DMAT (災害派遣医療チーム) と EMIS (広域災害救急医療情報システム)」

演者：中山 伸一 (兵庫県災害医療センターセンター長)

「ヘルスケアの災害対応と AI, IoT」

演者：佐藤 智太郎 (独立行政法人 名古屋医療センター 医療情報管理部 部長)

ランチョンセッション

ランチョンセッション 1 (L1)

「最新 IT 活用で実現する、高齢化社会の地域医療連携へのチャレンジ—2020 年、グローバルに日本モデルを提言する—」

5/27 (土) 12:00~13:00 第1会場

座長：高瀬 義昌 (医療法人社団至高会 たかせクリニック)

演者：宇陀 栄次 (ユニファイド・サービス株式会社 代表取締役会長/フォー・ユー・ライフケア株式会社 代表取締役社長/公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会/チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサー)

ランチョンセッション 2 (L2)

「防災インフラ整備への大和ハウスの挑戦」

5/28 (日) 12:00~13:00 第1会場

座長：高瀬 義昌 (医療法人社団至高会 たかせクリニック)

演者：堀 福次郎 (大和ハウス工業株式会社 取締役専務執行役員)

シンポジウム

シンポジウム 1

「地方創生と IT ヘルスケア」 (S1)

5/27 (土) 14:30~16:00 第1会場

座長：水島 洋 (国立保健医療科学院)

演者：唐澤 剛 (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官)

シンポジウム 2

「AI と認知症」 (S2)

5/27(土) 16:00~18:00 第1会場

座長：原 晋介 (大阪市立大学大学院)

「認知症情報学の深化と社会浸透による高齢社会のデザイン」

演者：竹林 洋一 (静岡大学大学院総合科学技術研究科 教授)

「認知症の「見立て知」の構築と地域住民との共学の実践」

演者：上野 秀樹 (千葉大学医学部附属病院地域医療連携部 特任准教授)

「自己情報コントロールと自律分散協調ヘルスケア」

演者：橋田 浩一 (東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)

「マルチモーダル認知症鑑別診断コーパスの構築」

演者：玉井 顯 (敦賀温泉病院 院長/理事長)

シンポジウム 3

「医療分野におけるモバイル・IoT とセキュリティ」 (S3)

5/28 (日) 9:00~10:30 第1会場

座長：木暮 祐一 (青森公立大学)

「医療の情報共有にかかるインフラコスト削減で実現させた途上国無医村での遠隔医療事例
～セキュアな P2P ネットワークによるグリッドコンピューティングの応用～」

演者：今津 研太郎 (有限会社 TRIART 代表取締役/熊本大学大学院医学教育部博士課程)

「データを守るセキュアな通信：モバイル閉域網の医療分野への活用」

演者：今村 友康 (株式会社メリテック ディレクター/セールスエンジニアリング)

「センサと AI によるケア記録の自動生成システムへの挑戦」

演者：荒川 豊 (奈良先端科学技術大学院大学 准教授/JST さきがけ 研究員)

シンポジウム 4

「地域包括ケアにおける薬局の役割—身体計測, IoT をめぐって—」 (S4)

5/28 (日) 14:30~16:00 第1会場

座長：岡崎 光洋 (一般社団法人スマートヘルスケア協会, 東京大学大学院薬学系研究科)

座長：原 晋介 (大阪市立大学大学院)

「IoT を活用した身体計測と薬局機能の創造」

演者：南 重信 (株式会社ミルウス 代表取締役社長)

「かかりつけ薬局時代における薬局機能と ICT・IoT ソリューションを活用したサービスへの期待」

演者：榊原 幹夫 (公益財団法人杉浦記念財団・事務局長)

「生活者が期待する薬局の活用と地域医療連携における情報共有」

演者：岡崎 光洋

(一般社団法人スマートヘルスケア協会・代表理事, 東京大学大学院薬学系研究科 医薬政策学講座・特任研究員)

市民公開講座

市民公開講座

5/28（日）16:00～17:30 第1会場
座長：水島 洋（国立保健医療科学院）

講演

「自動車の安全の取り組みと自動運転の技術動向」

演者：加藤 昌彦（トヨタ自動車株式会社 東京技術部 担当部長）

パネルディスカッション

「自動運転を初めとする安全な社会作りのための技術活用」

加藤 昌彦（トヨタ自動車株式会社 東京技術部 担当部長）

「都市防災における地域とのコミュニティを考えた防災対応ビルのありかた」

堀 福次郎（大和ハウス工業株式会社 取締役専務執行役員）

「災害医療の現状と問題点」 横山 孟史（一般社団法人 日本医療資源開発促進機構）

「在宅医療と地域包括ケア」 高瀬 義昌（医療法人社団至高会 たかせクリニック理事長）
